



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 中村橋教室

TEL. 5971-3615

梅雨の季節は、じめじめして体調を崩しがちですが、夏を迎えるための大切な時期。今のうちに運動や入浴などで汗をかく習慣をつけたり、体を暑さに慣れさせたりするとよいそうです。体調を整えつつ、元気に過ごしましょう。(写真 Mac/PIXTA)

だれでも
分かる

教育情報 & ニュース



▲天智天皇の百人一首の句

(写真勝 / PIXTA)

「時の記念日」なぜ6月10日？

みなさんは、「時の記念日」を知っていますか。「時の記念日」は、大化の改新を推し進めた中大兄皇子としても知られる天智天皇が、現在の暦で671年6月10日に漏刻(水時計)で時を計り、人々に時を知らせたことに由来します。このことは、日本最古の歴史書である『日本書紀』に記されていて、1920年(大正9年)に時間の大切さを尊重する意識を広めるために設けられました。

「漏刻」とは水時計の一種で中国から伝来しました。複数の容器が細い管でつながっていて、上から水が流れ落ち、いちばん下の容器の水位が上がると、目盛りがついた矢が浮き上がって、その目盛りで時刻を知るというしくみになっています。天智天皇にゆかりのある滋賀県の近江神社では、6月10日に「漏刻祭」という珍しい祭典が催されます。



▲近江神社の漏刻

(写真 YHY / PIXTA)

子供の数1366万人 総人口の割合は11.1%

総務省の発表によると、今年4月1日現在の15歳未満の子供の数が、前年より35万人少ない1366万人となり、1950年以降過去最少となりました。1950年、子供の数は2943万人でしたが、現在はその46%まで減少した計算になります。年齢別では、12~14歳が314万人で最も多く、0~2歳は222万人でした。都道府県別で見ると、沖縄県が15.8%と最も高い一方、秋田県が8.8%と最も低くなっています。

世界に目を向けると、人口4000万人以上の国、37か国中で子供の割合が最も低かったのは韓国(10.6%)で、以下日本(11.1%)、イタリア(11.9%)、スペイン(12.9%)と続きます。人口の多いインドの子供の割合は24.6%、中国は16.0%です。

米の価格 高騰続く

日本の主食である米の価格が、前年の同じ時期と比べて2倍を超える状況が続いています。政府は備蓄米を市場に放出して、米の価格を下げようとしています。「備蓄米」とは、不作・凶作のときでも安定的に国民が食べられるように政府が蓄えている米で、1995年から法律によって制度化されました。現在は、10年に一度の不作にも供給できる量として、100万トンの米を備蓄しています。

今、なぜ米の価格が上がっているのでしょうか。農家の高齢化・後継者不足や昨今の異常気象による米の収穫量の減少、資材費や輸送料など生産コストの上昇など、さまざまな原因が重なって起こっています。米の生産量は簡単に増やせるものではありません。安心して米が食べられるようにするには、どうしたらいいと思いますか？

次のテストの
ために

中間テストの振り返りをしよう！



中間テストの結果はどうでしたか？ 5月号で紹介した定期テストの勉強のしかたは生かされたでしょうか。中には「思ったよりも点数が取れなかった」という人もいるかもしれません。成績に直結する定期テスト。次のテストのためにも、しっかり中間テストの振り返りをしましょう。

(イラスト Gugu / pixta)

★「どんな間違い」をしたのか分析しよう！

テストが返却されると、つい点数ばかりを見てしまいがち。でも、点数に一喜一憂することなく、どこを間違えたのか、どんな間違え方をしたのかをすぐに確認することが大切です。



CASE 1 ケアレスミスが多かった！

→ 問題指示文の読み間違いや条件を満たしていなかったために誤答となるミスがあります。このようなケアレスミスは大変もったいなく、気をつければ必ず回避できます。慌ててしまう人は深呼吸して気を静めてから問題を解く、問題指示文をあまり読むことなくどんどん解き進めてしまう人は、ていねいに指示文を読むように心がけるなど、**自分のミスの傾向を知って、次のテストで同じミスを繰り返さないようにすることが大切です。**

CASE 2 間違っ覚えていた、理解していた！

CASE 3 まったく覚えていなかった、理解していなかった！

→ この場合、振り返り用のノートを用意して、テストで間違えた問題やわからなかった問題を問題集やプリントなどで調べながら、**もう一度解いて、答えを確認しましょう。**わからなかったときは、きちんと先生に質問しましょう。間違えた問題をしっかり解き直すことで、知識が正しく上書きされます。

例えば、数学の解き直しは**解き方の確認が大切です。**途中式や図形をちゃんと書き込むことで筋道を整理でき、間違えたときに見直ししやすいので、効果的に復習できます。また、英単語のつづりや漢字の書き間違いなど、「これはケアレスミスだな」と思っても、**そもそも間違っ覚えていたのかもしれない。**このような場合はまた同じ間違いをする可能性大です。しっかり振り返りをして確認しましょう。

★テスト勉強のしかたを振り返ろう！

目標に達しなかった教科は、**「勉強のしかたのどこに問題があったのか」を振り返り、**次のテストで生かすようにしましょう。テスト勉強のしかたを振り返るときは、次の点に着目してみましょう。



- **テスト勉強のスケジュールは十分取れていた??** (2週間前から始めるのが理想)
- **各教科の勉強時間の配分は適切だった??** 苦手な教科や暗記の多い教科は早めに取り組めた??
- **勉強時間が短すぎた??** (1～2時間やっても、集中していなければ無意味)
- **テストの出題範囲をすべて勉強することができた??**

テストの出題範囲をしっかり勉強できなかった人は、スケジュールを立てたときに、その日に勉強することを「問題集〇～〇ページ」のように具体的な範囲を考えて予定を立てることができていなかったかもしれないので、次はぜひ改善しましょう。

振り返ることで、「数学の配分をもう少し多くすればよかった」「社会は用語を覚える必要があったから、もっと早く始めればよかった」などと反省点が見えてきます。よかったところは継続し、そうでなかったところは改善して、次の定期テストに備えましょう。